



VOL.29  
2021.3.10 発行



あさ い のり あき  
**浅井 典明**  
浜松営業所 日栄構内作業班長

2015年10月、南星キャリアックス株式会社に入社した浅井典明さん。現在は浜松営業所に所属し、日栄構内作業班長を務めています。入社する前は様々な職種を経験されてきたという浅井さんに、これまでの成果や仕事をする上で気をつけていること、今後の目標を聞きました。

——入社される前はどのようなお仕事をされていましたか。

学生時代は野球に打ち込み、大学へ進んだのですが、野球を辞めるのと同時に退学しました。その後は引越しの仕事やトラックの運転手、ガソリンスタンド店員などいくつかの職を転々として、直近では居酒屋の調理の仕事と代行運転手をしていました。そんな生活を続ける中で、自分に合った仕事は何かと考えていたところ、持っていたフォークリフトの免許を活かせる今の職場に出会ったのです。トラックに乗っていた経験

から積み込みなどの流れは理解していますし、職場の雰囲気も自分の性に合っていると思いました。入社後は浜松営業所に配属され、日栄構内で勤務しています。常にフォークリフトに乗って荷物を運ぶ、イメージ通りの仕事でした。南星キャリアックスには、今まで一番長く勤めています。

——これまで勤めてきた中で、自慢できる成果を教えてください。

まだまだ勉強中ですが、班長という立場を任せてもらっていることでしょうか。他の作業員を集めた場で、上司の石原さんから「浅井に班長を任せようと思ってる」と言われた時は、認めてもらえた嬉しさと同時に、身の引き締まる思いもありました。働きぶり人間性を見ていただけたそうなので、責任感を持って務めなければならぬと思っています。お客様に対しての態度や言葉遣いは今

まで以上に気をつけて、日栄構内では私が一番年下なので、驕らないようにしようと思心を決めています。

——若くして班長になられた浅井さんですが、仕事をする上で気をつけているのはどのようなことですか。

先を読んで行動するように心がけています。例えば配車がどう組まれるか、自分なりに考えるのはもちろん、荷物の量を見て「これとこれは一緒に載せていくな」「翌日の荷物を引っ張ってくるだろうな」ということも常に考えて動くようにしています。あとは、人の動きを見て言われる前に動く。先を読んで動くスキルは、上司の仕事を見ながら覚えられました。そして何より気をつけているのは、基本に忠実に取り組んでいくことです。横着しようと思えばいくらでもできる仕事ですから、基本を忘れないようにしています。



——では、失敗した出来事はありますか。

入社3年目の出来事ですが、ピッキングセットをする時に、3日連続でミスをしてしまったことがあります。出荷するものを10個多く載せてしまったり、違うものを載せてしまったりと、初歩的なミスでした。その時は「何をやっているんだ」と、自分を恥じたも

のです。原因の一つは、ピッキング以外の業務に気を取られてしまったことでした。注意力が散漫になっていたのでと思います。もう一つは、仕事に慣れて気が抜け、惰性で載せてしまったことです。このミスをして以来、自分で自分を信じないようにしています。きちんと数えていても過信せず、もう一度数えてみる。そうして必ず見直しをするようになりました。

——最後に、今後の目標を聞かせてください。

会社には私たち30代の社員が少ないので、どんどん上に上がって、次の世代としての役割を果たしていかなければなりません。まずはお客様に認められる存在になり、配車の業務を覚えて、日栄構内の責任者になることが目標です。そして、ゆくゆくは管理者として活躍していきたいと思っています。



南星キャリアックスについて「一番良いところは人間関係です。人に恵まれてここまでやって来られました」と話す浅井さん。今後も仲間とともに、大いに活躍していくことでしょう。向上心を胸に、今日も浅井さんの挑戦は続きます。